

第九たいむず



No. 7 2007. 7.19

通刊750担当 M



ホームページ: www.takasaki9.com メールアドレス: takasaki9@myad.jp

〒370-0046 高崎市江木町483 TEL/FAX: 027-323-0233(団長渡辺) 携帯電話: 090-1828-8052(事務局長小野里)

♪新人歓迎会報告(7月12日現在、S11名A2名T4名B3名 計20名の新人さんが登録されています)

ソプラノから順番に新人さんのご挨拶をいただきました。入団のきっかけとして「もう一度歌いたい、歌ってみたかった、中国に行きたい？」との声があがり、最後に団長より「テーマは感動。感動するために集まっており、最大の感動は演奏会です。最後までがんばってみんなで同じ感動を味わいましょう。」との挨拶がありました。



♪新入団員の皆様へのアドバイス♪

- 失敗を恐れず、積極的に歌いましょう(最初は間違えて当たり前。失敗こそ成功の元、です！)
- うまい人の隣で歌いましょう(うまい人を真似ることは、上達の近道です)
- 録音できるものを持てきましょう(復習に便利です)
- わからないことは気軽に質問しましょう(先生方でも、運営委員でも、隣のお仲間でも)

♪先週の練習にて(先週の練習参加者 78名S28+A22+T13+B15))

<赤羽先生からの言葉>

●先週の「覚えてたいドイツ語」

①Kuesse: 英語でKiss、「キス」 (鱈 ←魚のきす 先生は言っていない)

(ウムラウトが表示できない時はueと表示されます。実際は Kusse のuに¨が付きます。)

●第九 654小節目 Wohnenのnは唇をくっつけません。

●クリスマスメドレー 「オー・ホリー・ナイト」全体的にリズムを正確に。

P. 15 1段目1小節目 16分音符の長さ・リズムを正確に。

P. 15 2段目1小節目 8分音符の長さ・リズムを正確に。

P. 15 2～3段目「たえなる あまつ」の部分、ブレスせず、続ける。

P. 16 Qの部分出遅れない、マーチにしない。リズムをしっかり正確に。

P. 17 1段目1小節目「うまぶねに」のねを抑えて。

<楽譜の訂正>

●クリスマスメドレー

P. 15 2段目「みつかい うたう」→「みつかい うとう」に訂正してください。

P. 17 1段目4小節目 テノール「主の主なり」りの音を ソ → ファ

P. 17 3段目3小節目「たもうために」→「たもうために」に訂正してください。

♪団より注意事項です

- 練習会場に入ったらまず、出席簿に出席を必ず押してください。正確な練習人数を把握するため、練習終了後に欠席者の印をつけるようになりました。
- 自分の楽譜には名前を書いて下さい！すでになくした方が何人もいます。(T-T)
- 練習中、携帯電話はマナーモードに設定してください。
- 練習時、演奏会本番の際、香りの強い香水の使用はお控えください。
- 集会ホールは基本的に飲食禁止です。飲食の際はロビーなどをお願いします。

♪今月から練習会場が高崎市中央公民館です。

車でお越しの方は、第2駐車場をご利用下さい。(8月も同じ場所です。)

7月26日(木)高崎市中央公民館 視聴覚室

7月28日(土)高崎市中央公民館 集会ホール(中国公演特別練習+旅行説明会)

8月2、9日(木)高崎市中央公民館 集会ホール

♪中国公演 追加練習のお知らせ(毎週木曜日 20時45分～)

毎週木曜日の第九通常練習の後、中国公演の練習を行います。公演参加者は中国公演の楽譜も持ってきてください。

＜日程＞7月19、26日 8月2、9、16日(全て木曜日)20時45分～21時15分(30分間)

♪サマーレッスン時間割(申込開始は今月より、場所は中央公民館、受講料500円)

8月19日(日)10:00～12:00 中国公演練習(公演参加者でなくても参加できます)

12:00～13:00 休憩 (お弁当持参)

13:00～16:30 通常のサマーレッスン(第九・ハレルヤ・クリスマスメドレー)

※ この後、納涼祭(ビストロAIAI 会費:3000円・高校生以下2000円)。

先週お申込された方で4000円と記入されたものをお持ちの方がいらっしゃると思いますが、実際は3000円の記入誤りです。

♪私と音楽

【テノール 田村 稔】

「のだめカンタービレ」って見ていましたか？今頃こんなことを言っているのはかなり遅れているとお思いでしょうが、実はつい最近になってこのドラマを全部見ました。放送されている時は、タイトルに惑わされ見る気がしなかったのですが、特に音楽関係の知り合いより、はまっているという話を聞きました。その後たまたま通っている歯医者さんのロビーに単行本の漫画が置いてあったのを手にしてよりのファンとなってしまいました。

早速知り合いから放送をダビングしたDVDを借りて見たところ、実にすばらしいドラマでした。いろいろな場面での主人公のセリフが、音楽の本質を見事にとらえているのです。薄っぺらな笑いの中に、音楽に取り組んでいる人間にはなるほどと思える貴重な言葉が、数多くちりばめられているのに驚きました。もともとコミックのドラマ化なので少々くだらないギャグも多いし、作者が指揮者については知識が少ないのか、指揮者が楽員に出す指示があり得ないものだったりする点を除けば、内容的には「アマデウス」に匹敵する音楽を題材としたドラマではないかとすら思えます。

ドラマに登場する曲の選曲が本当にいいですね。全部僕の大好きな曲ばかりです。ドラマのテーマは、キッチリと楽譜通り弾くことを大切にしてきた優等生の指揮者志望の若者が、一見ハチャメチャでまったく評価されていないが、音楽の本質をとらえた自由で本当に人を感動させる演奏をするピアノ科の少女に出逢い、音楽家として成長してゆくというものです。まだ見ていない方にはオススメです。ちなみに全11回です。

♪忘れえぬ演奏家1

【バス 住谷 伴】

今年の4月27日、ロシアが生んだ大チェリスト、ロストロポーヴィッチが80歳で亡くなりました。自らの芸術に対する確固たるポリシーで世界の聴衆を魅了し続けた人であると同時に、旧ソ連時代には祖国を捨てて同国出身の芸術家達を擁護した人でもありました。

私にとってのロストロポーヴィッチ像は、厳格さと優しさ、そしてユーモアを兼ね備えたチェリストです。学生時代よりレコードやCDを買い、いつか生演奏を聴きたいという思いを抱いていました。1996年(だったと思います)、私にその機会が巡ってきました。ドイツの地方都市開催された演奏会で、協奏曲のソリストとして彼はゆっくりとステージ中央の椅子に座り、楽器をなでるようにドヴォルザークのチェロ協奏曲を弾きました。全盛期を過ぎていたとはいえ、彼の音は優しさと気品に溢れていて、吸い込まれるように聴き入りました。この大曲を弾き終わった老チェリストに対し、全聴衆が惜しめない拍手を送り、彼はゆっくりとステージに戻り、ドイツ語で「Ich bin nicht muede ! (私はまだ疲れていません)」と笑顔で応えました。会場は一瞬笑いでどよめきましたが、次の瞬間無伴奏で彼の音が和やかでゆったりとした空気を作り出し、私のみならず会場に居合わせた人全員の心が満たされたでしょう。演奏家の人柄そのものを堪能した一夜になりました。

ロストロポーヴィッチの人生は、数々の困難や苦悩に直面していたと思いますが、同時に楽観的で前向きであり、それが心に響く音楽を奏でる秘訣であることを学びました。

♪ロシアフェスタの写真 お渡しします。

ロシアフェスタの写真を申し込まれた方々へ。写真の用意ができましたので、写真代と引き換えの上、写真をお受け取り下さい。1枚50円です。テノール太田までどうぞ。

※年末の第34回演奏会「高崎の第九」コンサートの指揮者・ソリストが決定しました。《詳細は後日》